

平成30年3月16日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(97回)報告

30.3.15 デイサービスセンター「ビックベン」 深谷市武蔵野

我々クラブのリピーターの施設です。久しぶりで3回目の公演です。午前中は「くまびあ」で定例の練習を行いました。全員がそろった練習は約一カ月振りです。練習の初めのうちは、銘々勝手に「玉すだれ」を操り、順序を間違えたり、演技を忘れたりで大混乱の状態でした。その為音楽を流し繰り返し、繰り返し練習をして、やっと元の状態に戻りました。

昼食を「くまびあ」で食べ、12時30分に旧花園町にある施設に向かいました。1時30分頃施設に着き、久しぶりの訪問で小島施設社長が出迎えてくれました。

すぐに部屋に通され早速今日の衣装である東京オリンピック法被に着替えました。公演は2時からです。2時少し前にロビーにでて、会場に入りました。既にデイサービス利用者の方々20人程との方が椅子や車椅子に座り、後ほど他の姉妹施設の方が加わり、最終的には30名を少し超える方が集まり、開演は少し遅れの開演でした。

施設側から短めの挨拶をいただき、舛田さんの口上に続き「南京玉すだれ」の演技が始まりました。口唄が始まると、程なく手拍子も聞かれるようになりました。自己紹介、「玉すだれ」の動きをトークして次の「きよしのズンドコ節」に移りました。我々5人の得意技という名目で、各人が「玉すだれ」を種々の形にして見せ、「これは何でしょう」というコーナーでは、あちこちから回答の声が掛り、交流が深まっていきました。「サザエさん体操」では、4人の男性職員が赤いエプロンを身に付け曲に合わせて体操の演技をしてくれました。

最後の「東京音頭」の演技では、曲の終了時の見せ場の万国旗を四方に張る華やかな場面も上手にいき、心配していた不安も吹っ飛ば、60分の楽しい公演が終わりました。



